令和６年３月２１日
北海道運輸局自動車交通部貨物課

貨物自動車運送事業の法令試験の結果について

標記について、下記のとおり報告します。

１．実施年月日：令和６年３月２１日（木）１３：４０～１４：３０

２．場所：北海道運輸局（札幌庁舎）６階会議室
北海道運輸局旭川運輸支局会議室
北海道運輸局室蘭運輸支局会議室
北海道運輸局釧路運輸支局会議室

３．受験者数：９者
（申請種別）一般新規６者、譲渡譲受等３者

４．合格者数：８者
（申請種別）一般新規６者、譲渡譲受等２者

５．不合格者数：１者
（申請種別）一般新規０者、譲渡譲受等１者

６．合格率：８８．８％

７．その他
・最高得点は３０点、最低得点は２１点
・平均得点は２７．４点

令和６年３月２１日実施

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

受験番号

申請者名（法人名）

受験者の氏名

（注意事項）
１．事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者を指します。
２．設問の文中には、一部省略しているものもあります。

Ⅰ．次の問題１から２０の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（　　）内に記入しなさい。

問題１（運行管理規程）

運行管理者は、乗務員の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあってはその職務及び権限並びに事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題２（安全管理者等に対する教育等）

事業者は、事業場における安全衛生の水準の向上を図るため、安全管理者、運行管理者、安全衛生推進者、衛生推進者その他労働災害の防止のための業務に従事する者に対し、これらの者が従事する業務に関する能力の向上を図るための教育、講習等を行い、又はこれらを受ける機会を与えるように努めなければならない。（労働安全衛生法）

（　　）

問題３（点呼等）

事業者は、アルコール検知器（呼気に含まれるアルコールを検知する機器であって、国土交通大臣が告示で定めるものをいう。）を営業所ごとに備え、常時有効に保持するとともに、貨物自動車運送事業輸送安全規則第７条第１項から第３項の規定により酒気帯びの有無について確認を行う場合には、運転者の状態を目視等で確認するほか、当該運転者の属する営業所に備えられたアルコール検知器を用いて行わなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題４（運賃及び料金の届出）

運賃料金設定（変更）届出書には、「設定し、又は変更しようとする運賃及び料金の種類、額及び適用方法」を記載しなければならない。（貨物自動車運送事業報告規則）

（　　）

問題５（点呼等）

事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対する点呼において、早朝時間帯の運行管理者（補助者）の出勤時間前等の都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題６（日常点検整備）

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。また、点検の結果、当該自動車が保安基準に適合しなくなるおそれがある状態又は適合しない状態にあるときは、保安基準に適合しなくなるおそれをなくするため、又は保安基準に適合させるために当該自動車について必要な整備をしなければならない。（道路運送車両法）

（　　）

問題７（相続）

事業者が死亡した場合において、相続人（相続人が２人以上ある場合においてその協議により当該一般貨物自動車運送事業を承継すべき相続人を定めたときは、その者。）が被相続人の経営していた一般貨物自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後１２０日以内に、国土交通大臣の認可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題８（過積載車両に係る措置命令）

警察官は、過積載をしている車両の運転者に対し、当該車両に係る積載が過積載とならないようにするため必要な応急の措置をとることを命ずることができる。（道路交通法）

（　　）

問題９（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１０（定義）

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者の行う運送（自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。）を利用してする貨物の運送をいう。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１１（運行管理者の指導及び監督）

運行管理者は、業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、事業者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題１２（事業計画）

貨物自動車運送事業法に規定されている貨物自動車運送事業の事業計画には、事業用自動車の長さ、幅、高さについて記載することになっている。（貨物自動車運送事業法施行規則）

（　　）

問題１３（輸送の安全に関する業務の管理の受委託）

事業用自動車の運行の管理その他国土交通省令で定める一般貨物自動車運送事業に係る輸送の安全に関する業務の管理の委託及び受託については、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１４（書面の交付等）

親事業者は、下請事業者に対し製造委託等をした場合は、直ちに、公正取引委員会規則で定めるところにより下請事業者の給付の内容、下請代金の額、支払期日及び支払方法その他の事項を記載した書面を下請事業者に交付しなければならない。ただし、これらの事項のうちその内容が定められないことにつき正当な理由があるものについては、その記載を要しないものとし、この場合に

は、親事業者は、当該事項の内容が定められた後直ちに、当該事項を記載した書面を下請事業者に交付しなければならない。（下請代金支払遅延等防止法）

（　　）

問題１５（許可等の条件）

貨物自動車運送事業法に規定する許可又は認可には、条件又は期限を付し、及びこれを変更することができる。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１６（事業改善の命令）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、役員の変更を命ずることができる。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１７（定義）

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業をいう。

一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業を経営しようとする者は、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１８（事業の適確な遂行）

事業者は、健康保険法（大正１１年法律第７０号）等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の納付その他の事業の適正な運営に関する事項に関し国土交通省令で定める基準を遵守しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１９（整備管理者）

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。（道路運送車両法）

（　　）

問題２０（目的等）

労働関係の当事者は、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」を理由として自動車運転者の労働条件を低下させてはならないことはもとより、その向上に努めなければならない。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準）

（　　）

Ⅱ．次の問題２１～３０の文章の指示に従って、設問に答えなさい。

問題２１（乗務員）

貨物自動車運送事業者の乗務員が、事業用自動車の乗務について、遵守しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア．事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに列車に対し適切な防護措置をとること。
イ．酒気を帯びて乗務しないこと。
ウ．事業用自動車に貨物を積載するときは、貨物自動車運送事業法第５条に定めるところにより積載すること。

（　　）

問題２２（届出）

事業者が地方運輸局長等に届け出なければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則）

ア．一般貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合
イ．事業者の氏名、名称又は住所に変更があった場合
ウ．事業者が新たに雇用した従業員が社会保険（厚生年金及び健康保険）に加入した場合

（　　）

問題２３（運行管理者の業務）

貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定されている運行管理者の業務として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、(　) 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア．運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
イ．乗務員に対する指導、監督及び特別な指導を行い、並びに運転者に適性診断を受けさせること。
ウ．点検整備記録簿その他の点検及び整備に関する記録簿を管理すること。

（　　）

問題２４（追越しを禁止する場所）

他の車両を追い越すため、進路を変更し、又は前車の側方を通過してはならない場所として定められた次の条文中の【　　】内にあてはまる語句を、次のア～ウの中から１つ選び、(　) 内に記入しなさい。(道路交通法)

交差点、踏切、横断歩道又は自転車横断帯及びこれらの手前の側端から前に【　　】以内の部分

ア．十メートル
イ．二十メートル
ウ．三十メートル

（　　）

問題２５（法人の合併又は分割の認可の申請）

事業者たる法人の合併又は分割の認可申請書に記載しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、(　) 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

ア．合併又は分割の予定日
イ．合併又は分割の方法及び条件
ウ．合併又は分割の契約日

（　　）

問題２６（目的）

貨物自動車運送事業法の目的として同法に記載されている事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法）

ア．貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものとすること
イ．貨物自動車運送事業の過当な競争の防止に関すること
ウ．輸送の安全の確保と公共の福祉の増進に資すること

（　　）

問題２７（運行指示書による指示等）

事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則第７条第３項に規定する乗務を含む運行ごとに運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア．運行の開始及び終了の地点及び日時
イ．乗務員の休憩地点及び休憩時間（休憩がある場合に限る。）
ウ．運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置

（　　）

問題２８（事故の記録）

事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には 、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において３年間保存しなければならないとされている。記録しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア．事故の発生日時及び運行管理者の氏名
イ．再発防止対策及び事故の原因
ウ．事故の発生場所及び事故の概要

（　　）

問題２９（事業の譲渡し及び譲受けの認可の申請）

一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けの認可申請書に記載しなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則）

ア．譲渡し及び譲受けの方法
イ．譲渡し及び譲受けの価格
ウ．譲渡し及び譲受けの場所

（　　）

問題３０（事業計画）

事業者が事業計画の変更をしようとするときに、国土交通大臣の認可を受けなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法、貨物自動車運送事業法施行規則）

ア．乗務員の休憩又は睡眠のための施設の位置及び収容能力の変更
イ．営業所の名称の変更
ウ．主たる事務所の名称及び位置の変更

（　　）

令和６年３月２１日実施

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

申請者名（法人名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受験者の氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（注意事項）
１．事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者を指します。
２．設問の文中には、一部省略しているものもあります。

Ⅰ．次の問題１から２０の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（　　）内に記入しなさい。

問題１（運行管理規程）

運行管理者は、乗務員の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあってはその職務及び権限並びに事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第２１条）

（正）事業者は運行管理者の職務及び権限等に関する規定を定めなければならない。

（　×　）

問題２（安全管理者等に対する教育等）

事業者は、事業場における安全衛生の水準の向上を図るため、安全管理者、運行管理者、安全衛生推進者、衛生推進者その他労働災害の防止のための業務に従事する者に対し、これらの者が従事する業務に関する能力の向上を図るための教育、講習等を行い、又はこれらを受ける機会を与えるように努めなければならない。（労働安全衛生法第１９条の２）

（正）運行管理者ではなく衛生管理者

（　×　）

問題３（点呼等）

事業者は、アルコール検知器（呼気に含まれるアルコールを検知する機器であって、国土交通大臣が告示で定めるものをいう。）を営業所ごとに備え、常時有効に保持するとともに、貨物自動車運送事業輸送安全規則第７条第１項から第３項の規定により酒気帯びの有無について確認を行う場合には、運転者の状態を目視等で確認するほか、当該運転者の属する営業所に備えられたアルコー

ル検知器を用いて行わなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第７条第４項）

（　○　）

問題４（運賃及び料金の届出）

運賃料金設定（変更）届出書には、「設定し、又は変更しようとする運賃及び料金の種類、額及び適用方法」を記載しなければならない。（貨物自動車運送事業報告規則第２条の２）

（　○　）

問題５（点呼等）

事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対する点呼において、早朝時間帯の運行管理者（補助者）の出勤時間前等の都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第７条第１項）

（正）電話その他の方法により点呼を行うことができるのは、運行上やむを得ない場合である。

（　×　）

問題６（日常点検整備）

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。また、点検の結果、当該自動車が保安基準に適合しなくなるおそれがある状態又は適合しない状態にあるときは、保安基準に適合しなくなるおそれをなくするため、又は保安基準に適合させるために当該自動車について必要な整備をしなければならない。（道路運送車両法第４７条の２第１項、第２項、第３項）

（　○　）

問題７（相続）

事業者が死亡した場合において、相続人（相続人が２人以上ある場合においてその協議により当該一般貨物自動車運送事業を承継すべき相続人を定めたときは、その者。）が被相続人の経営していた一般貨物自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後１２０日以内に、国土交通大臣の認可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法第３１条第１項）

（正）１２０日以内ではなく６０日以内である。

（　×　）

問題８（過積載車両に係る措置命令）

警察官は、過積載をしている車両の運転者に対し、当該車両に係る積載が過積載とならないようにするため必要な応急の措置をとることを命ずることができる。（道路交通法第５８条の３第１項）

（　○　）

問題９（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。（貨物自動車運送事業法第２５条第２項）

（　○　）

問題１０（定義）

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者の行う運送（自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。）を利用してする貨物の運送をいう。（貨物自動車運送事業法第２条第７項）

（　○　）

問題１１（運行管理者の指導及び監督）

運行管理者は、業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、事業者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第２２条）

（正）事業者が運行管理者に対して行わなければならない。

（　×　）

問題１２（事業計画）

貨物自動車運送事業法に規定されている貨物自動車運送事業の事業計画には、事業用自動車の長さ、幅、高さについて記載することになっている。（貨物自動車運送事業法施行規則第２条第１項）

（正）事業用自動車の長さ、幅、高さに係る規定はない。

（　×　）

問題１３（輸送の安全に関する業務の管理の受委託）

事業用自動車の運行の管理その他国土交通省令で定める一般貨物自動車運送事業に係る輸送の安全に関する業務の管理の委託及び受託については、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法第２９条）

（　○　）

問題１４（書面の交付等）

親事業者は、下請事業者に対し製造委託等をした場合は、直ちに、公正取引委員会規則で定めるところにより下請事業者の給付の内容、下請代金の額、支払期日及び支払方法その他の事項を記載した書面を下請事業者に交付しなければならない。ただし、これらの事項のうちその内容が定められないことにつき正当な理由があるものについては、その記載を要しないものとし、この場合には、親事業者は、当該事項の内容が定められた後直ちに、当該事項を記載した書面を下請事業者に交付しなければならない。（下請代金支払遅延等防止法第３条第１項）

（　○　）

問題１５（許可等の条件）

貨物自動車運送事業法に規定する許可又は認可には、条件又は期限を付し、及びこれを変更することができる。（貨物自動車運送事業法第５９条第１項）

（　○　）

問題１６（事業改善の命令）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、役員の変更を命ずることができる。（貨物自動車運送事業法第２６条）

（正）役員の変更は規定されていない。

（　×　）

問題１７（定義）

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業をいう。

一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業を経営しようとする者は、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法第２条第１項、第３条、第３５条第１項、第３６条第１項）

（正）貨物軽自動車運送事業を経営しようとする者は、許可ではなく届出が必

要である。

（　×　）

問題１８（事業の適確な遂行）

事業者は、健康保険法（大正１１年法律第７０号）等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の納付その他の事業の適正な運営に関する事項に関し国土交通省令で定める基準を遵守しなければならない。（貨物自動車運送事業法第２４条の４）

（　○　）

問題１９（整備管理者）

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。（道路運送車両法第５０条第１項）

（　○　）

問題２０（目的等）

労働関係の当事者は、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」を理由として自動車運転者の労働条件を低下させてはならないことはもとより、その向上に努めなければならない。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第１条第２項）

（　○　）

Ⅱ．次の問題２１～３０の文章の指示に従って、設問に答えなさい。

問題２１（乗務員）

貨物自動車運送事業者の乗務員が、事業用自動車の乗務について、遵守しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第１６条）

ア．事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに列車に対し適切な防護措置をとること。

イ．酒気を帯びて乗務しないこと。

ウ．事業用自動車に貨物を積載するときは、貨物自動車運送事業法第５条に定めるところにより積載すること。

（正）貨物自動車運送事業輸送安全規則第５条に定めるところ

（　ウ　）

問題２２（届出）

事業者が地方運輸局長等に届け出なければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則第４４条第１項）

ア．一般貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合
イ．事業者の氏名、名称又は住所に変更があった場合
ウ．事業者が新たに雇用した従業員が社会保険（厚生年金及び健康保険）に加入した場合

（　ウ　）

問題２３（運行管理者の業務）

貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定されている運行管理者の業務として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第２０条第１項）

ア．運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
イ．乗務員に対する指導、監督及び特別な指導を行い、並びに運転者に適性診断を受けさせること。
ウ．点検整備記録簿その他の点検及び整備に関する記録簿を管理すること。
（正）ウ．は整備管理者の業務である。

（　ウ　）

問題２４（追越しを禁止する場所）

他の車両を追い越すため、進路を変更し、又は前車の側方を通過してはならない場所として定められた次の条文中の【　　】内にあてはまる語句を、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（道路交通法第３０条）

交差点、踏切、横断歩道又は自転車横断帯及びこれらの手前の側端から前に【　　】以内の部分

ア．十メートル
イ．二十メートル
ウ．三十メートル

（　ウ　）

問題２５（法人の合併又は分割の認可の申請）

事業者たる法人の合併又は分割の認可申請書に記載しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則第１８条第１項）

ア．合併又は分割の予定日
イ．合併又は分割の方法及び条件
ウ．合併又は分割の契約日

（　ウ　）

問題２６（目的）

貨物自動車運送事業法の目的として同法に記載されている事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法第１条）

ア．貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものとすること
イ．貨物自動車運送事業の過当な競争の防止に関すること
ウ．輸送の安全の確保と公共の福祉の増進に資すること

（　イ　）

問題２７（運行指示書による指示等）

事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則第７条第３項に規定する乗務を含む運行ごとに運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第９条の３）

ア．運行の開始及び終了の地点及び日時
イ．乗務員の休憩地点及び休憩時間（休憩がある場合に限る。）
ウ．運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置

（　ウ　）

問題２８（事故の記録）

事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には 、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において３年間保存しなければならないとされている。記録しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第９条の２）

ア．事故の発生日時及び運行管理者の氏名　（正）乗務員
イ．再発防止対策及び事故の原因
ウ．事故の発生場所及び事故の概要

（　ア　）

問題２９（事業の譲渡し及び譲受けの認可の申請）

一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けの認可申請書に記載しなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則第１７条第１項）

ア．譲渡し及び譲受けの方法
イ．譲渡し及び譲受けの価格
ウ．譲渡し及び譲受けの場所

（　イ　）

問題３０（事業計画）

事業者が事業計画の変更をしようとするときに、国土交通大臣の認可を受けなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から１つ選び、（　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法第９条第１項、第３項、貨物自動車運送事業法施行規則第２条第１項、第７条第１項）

ア．乗務員の休憩又は睡眠のための施設の位置及び収容能力の変更
イ．営業所の名称の変更
ウ．主たる事務所の名称及び位置の変更

（　ア　）